

小岩井自治会会報

# もりっこ

第84号

発行 / 小岩井自治会  
編集 / 文化部  
発行日 / 令和4年12月1日



## 小岩井自治会文化祭 三年ぶりに秋の芸術を満喫



恒例の秋の自治会文化祭が、令和4年11月5日・6日に小岩井地区コミュニティセンターで開かれました。ふうりん保育園の園児や小学生、中学生、一般の皆さんに加えふうりん会の皆さんの作品など199点の作品が所狭しと展示され延べ200名を超える多くの方でにぎわいました。

なかにはプロ級に匹敵するような作品もあり、訪れた多くの皆さんはその出来栄えに感心していました。同文化祭は、コロナ禍の影響で開催が2年間見送られていましたが、感染予防に万全を期しながら3年ぶりに開催されたものです。



喫茶コーナーも人気がありました。



ふうりん娘も応援出店、文化祭を盛り上げました。

【市政懇談会開催】

**第2次滝沢市総合計画の基本的考え方示す**



9月4日、小岩井地区コミュニティセンターで市政懇談会が開催され、当局から市長・副市長・部長等が出席し地元住民多数が参加しました。

柴田自治会長・主濱市長のあいさつの後、第2次滝沢市総合計画について市側から次のような説明がありました。

参加者にとって聞きなれない用語が散見され、内容が難しくよく分からなかったとの声が多くありました。

**第2次滝沢市総合計画とウェルビーイングについて（説明概要）**

個人的な幸せを示す「ハピネス」を、より長期的・持続的な幸せとしてとらえたものが「ウェルビーイング」です。個人だけでなく、個人を取り巻く「場」が持続的に良い状態であることを表し、「場の幸せ（点）→個人の幸せ（線）→個人を取り巻く場の持続的な幸せ（面）」というように深化していくものであり、その意味では、ハピネスに比べ、より公共的な性格を持つものといえます。滝沢市の第2次滝沢市総合計画基本計構想においては「場の幸せ」により着目し、「幸福感を育む地域環境の創出」をさらに発展させる形で「ウェルビーイングの実現に向けた地域環境の創出」を基本的考え方として掲げるものです。

【自主防災訓練】

**備えあれば憂いなし**



AEDの訓練中。実際に体験してこそいざというときに役立ちます。

令和4年度小岩井自治会防災訓練が8月28日（日）小岩井地区コミュニティセンターで実施されました。地域住民など36人が参加。AEDを使った救命訓練や携帯電話による災害情報取得方法を学びました。

防災訓練終了後、地域づくり推進委員会主催でコミュニティセンターに備えている土嚢袋の入れ替え作業を行いました。

**子供神輿の中止にめげず！  
清掃活動で地域に奉仕**



寒さにも負けず皆で頑張りました。

10月15日（土）  
風林稲荷神社周辺を  
中心に子どもたちによる  
クリーン活動・ゴミ拾いが  
行われました。



子ども育成会が主催。神社のお祭りが、コロナ感染予防のため昨年に引き続いて中止となったため、子供神輿に代わる活動として企画されたものです。

## 滝沢市民体育祭中期競技スローピッチソフトボール 惜しくも4位 チームの団結に手ごたえ！

9月25日、2年ぶりに開催された市民体育祭中期競技スローピッチソフトボールですが、今年は育成会の皆様からも協力をいただき楽しく参加できました。

予選リーグ第一試合では、先発の勝田さんを中心に、投手力、守備力、打撃力とバランス良く力を発揮して快勝。3年ぶりに予選リーグを突破しました。決勝トーナメントでは粘り強く戦うも疲労が重なり惜しくも一回戦で敗れてしまいました。結果として4位に終わりましたが、全員まとまって試合ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。選手の皆さんはもちろん、応援に駆けつけてくれた方、都合がつかず出場を断念された方、誰一人欠けても、この結果は出ていませんでした。小岩井自治会の結束の強さを感じることができました。ご声援、ご協力、本当にありがとうございました。

(体育部長 照井洋)



### 疲れ癒す浜風ーファミリーハイキング

## 宮古市の浄土ヶ浜近辺を散策

10月16日(日)、自治会と地域づくり推進委員会との共催で3年ぶりにファミリーハイキングが行われました。最高の秋晴れの朝、小岩井駅から33名が大きなバスに乗って宮古を目指して出発！ビジターセンターから浄土ヶ浜コースを散策しました。

歩き出してすぐに急な階段をみんなでクリアし素晴らしい眺めを堪能。その後は和気あいあいと気持ちの良い汗をかき全員でゴールしました。

昼食は美味しい海鮮丼を味わい、「シートピアなあと」でお買い物を楽しみ小岩井駅を目ざして無事帰路に着きました。

### こいわいスタンプラリー

10月2日(日)夏まつり代替行事として「こいわいスタンプラリー」を開催！家族連れやお友達同士など150人が参加。昨年同様チェックポイントは5カ所。くじ作りや抽選係は中学生、チェックポイント係は育成会が担当しました。いろいろな部のみなさんが関わり開催することが出来ました。



景品をもらってニコニコに

### IBC ラジオ中継<小岩井ウォーク>

9月3日(土)橋場線100周年を記念して宮沢賢治が歩いた道のりを巡る『IBC ラジオすっぴん土曜日小岩井ウォーク』が開催されました。地域特別枠で小岩井地区からも54人の方が参加。宮沢賢治、小岩井農場などについて農場ガイドさんの説明を聞きながら小岩井駅からまきば園まで2時間の道のりを楽しみました。



賢治が歩いた道を体験

## 【こいわい地域この人コーナー】



## 地域に密着する想いで食堂を経営

(14班A) 青木 稔



私は東京から盛岡を経由し5年程前に小岩井地区に越して来ました。東京では学生アルバイト中に感銘を受けたホテルに就職し、ソムリエを目指しました。当時職業としてあまり知られていませんでしたが、日本でのワインコンクールが開催されるなど、徐々に認知度が高まり、数年後には『田崎真也』が現れます。彼が世界大会でアジア人初のチャンピオンになり、日本ではワインマニア間でしか知られていなかった『ソムリエ』という職業を世間に広めてくれました。

当時、ソムリエが忘れていた事がありました。自国の『日本酒』を知る事です。全国の蔵元を回り日本酒を学び、仲間と共にワイン協会の知識を活用し、日本酒協会を立ち上げ、『利き酒師』の育成が本業になりました。その中出会ったのが盛岡の酒蔵の社長で、気が付けば日本酒メーカーで働く事になっていました。それから数年後に食堂を開業する話が進み、酒蔵の社長と(有)ライスガーデンを創業し、盛岡月が丘に、平成18年『月が丘食堂』を開業しました。地域に密着するという想いで、県産の豚肉、鶏肉、紫波町産の鶏卵を使用しています。旬の野菜も出来る限り使用し、近年は『ふうりん娘』さんの野菜も使わせて頂いております。小岩井の新鮮な野菜は大評判で農家のお姉様方には大感謝しております。

最後に店の自慢は、気取らない笑顔のベテランスタッフ達です。ここ10年スタッフは変わっておらず、食堂を支えてもらっています。お客様はもちろん全ての皆様に支えられている事に感謝し、今後も営業を続けていきたいと思えます。

盛岡から愛犬4頭を連れて夫婦で小岩井地区に移住し、多少の不安もありましたが、ご近所の方々は良い人ばかりで、快適な暮らしを過ごしています。愛犬共々、今後も宜しくお願い致します。

現在、コロナ禍ではありますが、笑顔で過ごせる日常が戻って来ることを切に願っております。

(有限会社ライスガーデン 代表取締役社長)



おめでとぅございませす

令和4年秋の叙勲

緑綬褒章

岡部直子さん(14班B)

ふうりん会の歴史残したい  
25周年資料集を発行

このたび、ふうりん会では結成25周年を記念して「小岩井ふうりん会25周年資料集」を発行しました。規格はA4版52ページ。



主に、これまで発行されてきた「ふうりん会報」を要領よく整理し収録しています。このほか会報こいわい(現もりっこ)から「小岩井むかし話」を転載して紹介。郷土の歴史を知ることができる資料としても期待されています。

## 編集後記

もりっこは、実際はカラーで作成していますが、経費の関係で各家庭にはモノクロ版でお届けしています。滝沢市ホームページの「たきざわコミュニティ」ではカラー版を見ることができます。同コーナーには他の自治会の会報も紹介されていて、それぞれの地域がどんな活動をしているかを知ることができます。ぜひご覧ください。

編集スタッフ一同